

景観計画策定一覧表

(平成23年1月1日現在)

自治体名	策定(公示)年月日	景観計画の区域	概要
大分市	平成19年3月22日	市内全域	自然景観の保全、眺望景観の確保、沿道及び鉄道沿線等の景観の保全、市のシンボルとなる景観づくりや身近な景観の保全・形成を図っています。 大分城址公園周辺地区の景観地区決定、色彩ガイドライン策定など地域ごとの特色を活かした取り組みをおこなっています。
別府市	平成20年3月27日	市内全域	特有の温泉湯けむり景観を観光資産として活かし、観光再生、市民生活の向上、交流人口の増加など新たな活力の創出を目的としています。また、さらなる良好な景観の形成を重点的に進めるため「鉄輪温泉地区温泉湯けむり重点景観計画」を策定しています。
由布市	平成20年10月1日	湯の坪街道周辺地区	湯の坪街道周辺地区が将来に渡って生活と観光が両立する持続可能な地域を形成していくため、由布岳を中心とした自然景観を大切に、安全に安心して時間を過ごすことができる地区の形成を図っています。
日田市	平成19年9月27日	小鹿田焼の里	皿山地区の窯業集落景観と伝統的な石積み棚田が残る池の鶴地区の農山村景観が特徴的で、昔ながらの生活や生業を営んできた地域として良好な景観の保全・形成を図っています。(国の重要文化的景観に平成20年3月選定)
豊後高田市	平成22年1月20日	田染の荘小崎	中世のムラとしての荘園村落遺跡が良好な状態で残る地域です。本計画は田染の荘小崎の文化的景観を保全し継承するとともに、資源として活用し、地域内外の交流促進を図っています。(国の重要文化的景観に平成22年8月選定)
中津市	平成22年3月12日	市内全域	名勝耶馬溪や旧城下町のまちなみをはじめ、歴史や文化、自然を感じさせる景観資源など、中津市らしい個性と魅力を引き出す要素を基に、市全域を10のエリアに分類してそれぞれの景観特性や課題などを整理し、良好な景観形成に向けての方針や方策を策定しています。

